

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '商工会等地域振興対策事業費助成事業' and '商工業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about product sales expansion and administrative procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for ①手段, ②対象, ③意図 and 5 columns for 26-30年度. Includes indicators for activity volume, target size, and achievement rate.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts for 26-30 years. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員, 非常勤, etc.).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 years. Includes columns for 19 負担金補助及び交付金 and 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes implementation details for product development and PR activities.

事務事業名	商工会等地域振興対策事業費助成事業	事務事業No.	50201000526	所属課	商工観光課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成16年から真壁町商工会において特産品開発事業を行っており、町から補助金を交付して「うまかべすいとん」を開発した。現在は「うまかべすいとん」のPRの他、新規の特産品開発をメインに活動を行っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市議会議員から、特産品開発の更なる推進を進めるよう意見(一般質問)が出ている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 平成23年から新規特産品開発を検討しており、27年度で5年目となることから、一度5年間の成果について総括すべき時期に来ている。今後継続しても効果が薄いと判断できれば、新規開発体制の見直しや、既存の特産品のPR事業に絞った助成に留めるなど、事業の改革を含めて検討する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の食材等を活かした特産品の開発により、市内外から注目を集めることができれば、市内事業者の活性化につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 新商品の開発自体は本来事業者が行うべきものだが、市や商工会がリードすることによって、一貫したテーマを持った効果的な特産品の開発が期待できる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある うまかべすいとんはひなまつり時のPR等によって定着が進んでいるが、それに続く特産品の開発が成功すれば更なる成果の向上が期待できる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在PRしている「うまかべすいとん」に続く新規特産品が生み出される機会が減少するほか、既存のすいとん等のPR機会も少なくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 茨城県中小企業等グループ施設等災害復旧事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 茨城県中小企業等グループ施設等災害復旧事業による新規メニュー等の開発があったほか、民間事業者の自主性に任せることも考えられる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在目立った新規製品の開発実績が無いため、進捗が見られないようなら既存の特産品PR費用に必要な額の補助に留め、事業方法の見直しを図ることも考えられる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内事業者の取りまとめを商工会が行っており、公平性は保たれている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) すいとん事業は、8年経過すいとんを出す店の数も増加し、定着してきた。すいとん事業は今後も継続するが、新規開発が停滞しているため、事業の見直しも視野に入れて今後の方針を検討するべき時期に来ている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新規の特産品については議会をはじめ、一般市民や事業者等からも一定のニーズがあるため、本事業の見直し、改革により停滞する恐れがある。 ただし、効果の見えないまま継続しても目的達成は難しいため、長い目で見て成果の見込める手法を検討することが必要である。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---